

大果で収量の多い新しいイチゴ品種を開発中です 農林水産研究所

育成中の有望系統を紹介します。

D5 (27-8-4)

かおり野 × 18-58-9

大果で花数が少なく省力的な

果重型系統



D6 (27-17-1)

愛媛12号 × かおり野

収穫始めが早く年内から収量の多い

多収型系統



育成系統の特性

(平成30～令和2年度所内試験の平均)

系統名	頂果房		商品果収量 (kg/a)		大果収量 (kg/a)	一果重 (g)	Brix	糖酸比	赤色指数 (果皮色)	果肉色	傷害果率 (%)	うどんこ病果率 (%)
	収穫始日 (月/日)	花数 (個)	年内	全期								
D5 (27-8-4)	12/1	11.7	124	557	469	20.8	8.6	13.4	38.7	2.0	8.8	0.1
D6 (27-17-1)	11/22	18.9	156	561	359	15.0	9.0	15.4	39.6	2.0	5.4	0.2
紅ほっぺ	12/1	21.2	112	492	313	14.8	8.7	12.0	38.3	2.0	15.7	1.5
紅い雲	11/28	15.2	94	444	285	15.6	9.4	13.0	34.8	2.0	11.2	0.1
あまおとめ	12/10	22.6	92	393	267	15.7	9.1	13.4	32.6	1.6	13.0	0.0

大果収量が多い

年内から収量が多い

果実の着色が良い

- 1) 土耕栽培、5℃加温、電照なし 2) 収穫始日: 調査株の半数が収穫された日 3) 商品果収量 年内: 収穫日から12月末日まで、全期: 4月末日までの収量 4) 大果収量: 15g以上の果実の収量 5) 商品果収量、大果収量は、1株収量に栽植密度725株/aをかけて算出
6) 赤色指数: 色彩色差計(ミノルタCR-2000)の測定値から、 $a^* \times 1000 / (L^* \times b^*)$ の式により算出 7) 果肉色: 赤(2)～白(0)
8) 傷害果率: 傷害果(収穫前に果皮がふやけるなどの傷害が発生していた果実と収穫作業中に果皮が傷害を受けた果実)が全収穫果に占める重量割合 9) うどんこ病果率: うどんこ病の発生した果実が全収穫果に占める個数割合